

会議名 地域連携推進会議

管理者	サビ管	担当	担当
			

実施日 2025年 6月 18日 10:30 ~ 11:50

参加者 自治会長・M様 大和市障がい福祉課・O様 後見人・O様
利用者・I様 的場

※ 別紙資料について

2024年度事業報告書ダイジェスト、2025年度事業計画書、2025年度当初予算書

○ 自己紹介

的場、I様、O様、M様の順で自己紹介をして頂く。

※ 後見人O様は到着後に自己紹介をして頂く。

○ 会議の目的・役割の確認

- ・ ホームに入居している利用者さんと地域の関係づくり。
- 地域連携推進会議を通して、利用者さん皆さまが関わる機会を作っていきたいと思います。
- 資源ごみを出す時は、利用者さんも一緒に捨てる取り組みをしています。そういった機会に地域の皆さまと関わる機会になっていければと思います。
- ・ 地域の皆さまにGHの存在を知って頂く。
- 会議を通して、地域の方々から・すてら上和田の存在を知って頂きたいと思っています。
- ・ サービスの透明性と質の確保。
- GHは生活の場ということもあり、外部の方の目が入りにくいことが課題の一つです。会議を通して地域の皆さまにサービス内容や取り組みにご助言等頂き、透明性の確保を目指していきます。
- ・ 利用者さんの権利擁護。
- 利用者さんが地域の中で希望する生活が送れているかなど、会議を通して皆さまに知って頂きたいと思います。また、法人の虐待防止への取り組みをご説明させていただきます。

① 虐待防止の取り組みについて

- ・ セルフチェックの実施
- 法人全体で取り組んでいるツールで基本的に全職員が行っています。毎月月初にセルフチェックの実施のアナウンスをして、前月分の振り返りを行っていただいています。
- ・ コメントの振り返りと共有
- 実際にアコードで行うセルフチェックの画面を参加者で確認する。
- すてらでは毎月虐待防止委員会を行い、セルフチェックのコメントを常勤で共有をしています。自分の事業所でコメントがなかったからよかった。ではなく、他事業所のコメントを確認して「ら・すてら上和田で起こさないためにはどうしたらいいか」というのを話し合っ、事業所会議でフィードバックしています。

【ご意見】

- ・ 法人全体でこのような取り組みをしているのはいいことだと思います。全事業所のコメントの閲覧や、実際にフィードバックなどするのは必要だと思います。

② 2024年度事業報告書について

- ・ 事業報告書ダイジェスト参照
- すてらは、GHと短期入所を行っているので2つあります。

【ご意見】

- ・ なぜ、短期入所のヒヤリハットは極端に少ないのか？
- 短期入所は毎日稼働しているわけでもないため、GHよりも件数が少なくなっていますが、割合で考えると、短期入所のヒヤリハットの件数は少なく、課題の一つです。今年度は短期入所のヒヤリハットの件数を増やしたいように取りこんでいきたいと思っています。

地域の避難訓練について

- 毎年10月頃に地域の防災訓練があり、起震車もくることがある。

③ 経営状況の報告

- ・ 2025年度当初予算のご報告
- 開所当所は収支のバランスが悪く赤字での運営でした。
- 今年度は、資料の通り健全な運営をすることができています。誕生会や食事会などで利用者へ還元をしています。

④ 2025年度事業計画書について

- ・ 事業計画書を参照。

→ 虐待防止委員会など各委員会の実施や、所定の研修も計画に入れて実施をしています。

⑤ 利用者さんの様子

- 日中は通所施設に行かれている方が多いです。
- 夕方ホームに戻られてから入浴や食事の提供など支援をしています。
- 土日祝は移動支援(ヘルパーさんと外出)や帰宅する方もいます。

→ Iさんより「通所先のおでかけが楽しみ」といったお話しがある。

→ 的場から「大きな声や音がした時に気になりますか？」と伺うと「気になる」とお返事がある。

⑥ 関係機関との連携

- 訪問リハビリやマッサージ、訪問診療、訪問歯科、訪問看護など、障がい福祉サービス以外のサービスを利用されている方が多いです。

⑦ 質疑応答、感想など

- 障がい福祉課様より

→ 法人で取り組んでいる、ヒヤリハットやセルフチェックの取り組みはいいものだと思う。

→ 共同生活の場なので利用者が我慢をすることがあるのは仕方がないと思う。

⑧ 施設内の見学

→ 参加者に施設内の見学をして頂く。

⑨ その他

→ 本日使用した資料についてはG長に確認をして個人情報に配慮をしたらうえで改めて参加者にお渡りする。